

保護者講師に 職業意識学ぶ

松本秀峰

松本市の松本秀峰中等教育学校はこのほど、生徒、保護者、教員が共に学ぶ「秀峰アカデミア」を同校で開いた。弁護士や医師、建築士などの保護者を講師に10の分科会で、職業観や社会人としての基礎知識などについて理解を深めた。



このうち、マナーと印象力のスキルアップ

各界のプロの保護者を講師に生徒、保護者、教員が共に学び合う秀峰アカデミア

講座は28人が受講。司会・セミナー講師の矢崎由理子さんは、日本のビジネスマナーを基に、他人から見た自分の印象が、人間関係や仕事に大きく影響するなど説明。「マナーは、相手を不快にさせない思いやり。うわべ

だけでなく、普段の生活から意識して身に付けてほしい」と伝えた。各界で活躍する大人から生徒にメッセージを発信することで、生徒の進路意識を高めるとともに、保護者や教員にとっては社会で求められる力や家庭環境、教育を考える場になればと毎年開き3回目。

一昨年は講師を務め、今回は生徒と受講した薬剤師の小口正義さん(46、諏訪市)は「将来設計を立てる際に、どんな勉強をすればいいかを知りたい。大人にとってもさまざまな職業の話聞けて良かった」と話した。